
OPTiM

Optimal Biz Android Enterprise (AMAPI) アプリケーション配信 手順書

最終更新日 2024 年 7 月 15 日
(Web サイト ver.9.21.0)
株式会社オプティム

はじめに

本マニュアルでは、Optimal Biz（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解の上、マニュアルをお読みください。



名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。




記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
「 」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。

参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

不明な用語は、以下を参照してください。

 [『よくあるご質問 \(FAQ\)』](#)

免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が [管理者] のユーザーを対象としています。[管理者] 以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

登録商標

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

1 アプリケーション配信を利用するには	5
1.1 連携設定を確認する	6
1.2 専用デバイスに配信できるアプリ	6
2 アプリをインストールする	7
2.1 アプリケーション配信の流れ	8
2.2 アプリをサイレントインストールする	8
2.2.1 アプリケーション配信設定を作成する	8
2.2.2 端末にアプリケーション配信設定を割り当てる	12
2.3 オリジナルアプリをインストールする	14
2.3.1 アプリケーション配信設定を作成する	15
2.3.2 端末にアプリケーション配信設定を割り当てる	21
2.4 アプリ構成を利用してアプリをインストールする	23
2.4.1 個別アプリケーション設定を作成する	23
2.4.2 アプリケーション配信設定を作成する	29
2.4.3 端末にアプリケーション配信設定を割り当てる	33
3 アプリをアップデートする	35
3.1 自動アップデートの条件	36
4 その他	37
4.1 注意事項	38
4.2 インストール／アップデートができないときは	38

1 アプリケーション配信を利用するには

1.1 連携設定を確認する

Android Enterprise の「アプリケーション配信」を利用するには、あらかじめ本製品と Google の連携設定を行う必要があります。連携設定が完了しているかどうかは、以下の画面で確認できます。

表示操作 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(AMAPI アカウント登録)]

Google との連携設定が完了している場合は、(A)「状態」が「登録済」と表示されています。

🔗 (A)「状態」が「未登録」と表示されている場合は、以下を参照して連携設定を行ってください。

🔍 『Android (AMAPI) キットニングマニュアル』の「事前準備をする」－「Android Enterprise 連携を行う」



1.2 専用デバイスに配信できるアプリ

Android（専用デバイス）端末に配信できるアプリは、「キオスクアプリ」と「許可アプリ」の2種類です。

以下を参照して、それぞれのアプリについて確認してください。

名称	説明
キオスクアプリ	管理サイトから配信すると、Android（専用デバイス）端末にサイレントインストールされます。インストール完了後、自動でキオスクアプリが起動します。 🔗 キオスクアプリは固定で表示されるため、他のアプリは使用できません。 🔗 端末の [ホーム] や [戻る] をタップしても、ホーム画面などは表示できません。
許可アプリ	管理サイトから配信すると、Android（専用デバイス）端末にサイレントインストールされます。インストールが完了後、managed Google Play ストアに許可アプリが表示されます。 🔗 端末から許可アプリをアンインストールすることはできません。アンインストールするには、管理サイトで設定セットから対象のアプリを削除して端末と同期をしてください。

2 アプリをインストールする



-
- Android Enterprise では、有料アプリのインストールはできません。
 - Android Enterprise では、「アプリ内課金あり」のアプリをインストールしても、追加機能の購入などはできません。
 - Google の画面は、予告なく変更される場合があります。
-

2.1 アプリケーション配信の流れ

Android Enterprise の「アプリケーション配信」では、大まかに以下の流れでアプリのインストールを行います。

1. 個別アプリケーション設定を作成する。
2. アプリケーション配信設定を作成する。
3. 端末にアプリケーション配信設定を割り当て、同期を行う。

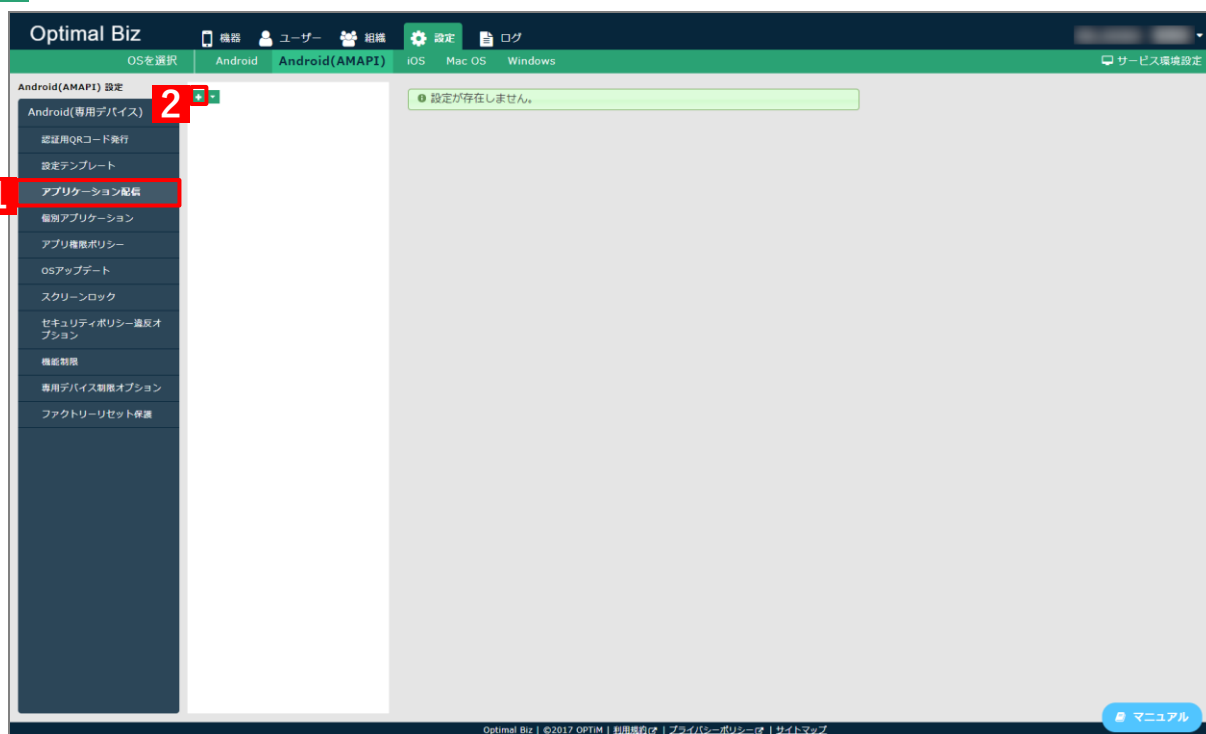
2.2 アプリをサイレントインストールする

「アプリケーション配信」でアプリを端末にサイレントインストールするには、以下の一連の操作を行います。

2.2.1 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリケーション配信設定を作成します。

- 【1】 [設定] → [Android(AMAPI)] → [Android(専用デバイス)] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- 【2】 **+** をクリックします。



[3] 「設定名」に任意の名前を入力します。

[4] 「アプリを選択する」をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。

☑提供元不明アプリを端末にインストールしたい場合は、[アプリを選択する] をクリックせず、(A) 「パッケージ名」にインストールしたいアプリのパッケージ名を直接入力してください。

☑キオスクアプリ、許可アプリの違いについては、以下を参照してください。

🔗 「専用デバイスに配信できるアプリ」6 ページ

新規作成

設定

設定 - 編集

3 設定名

キオスクアプリ (A)

4 アプリ名 パッケージ名 自動アップデート設定 個別アプリケーション

アプリを選択する

デフォルト (設定なし)

(これ以上追加できません)

許可アプリ

アプリ名 パッケージ名 自動アップデート設定 個別アプリケーション

アプリを選択する

デフォルト (設定なし)

(+ボタンで追加: 300件まで)

自動アップデート設定について

デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

- 各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
- または、[Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
- 端末を操作していない状態である。
- 端末が充電中である。
- アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。90日を過ぎると、[デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

高優先度
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開された後、端末のGoogle Play ストアがアップデートを受け取るとすぐにアプリが自動アップデートされます。[デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

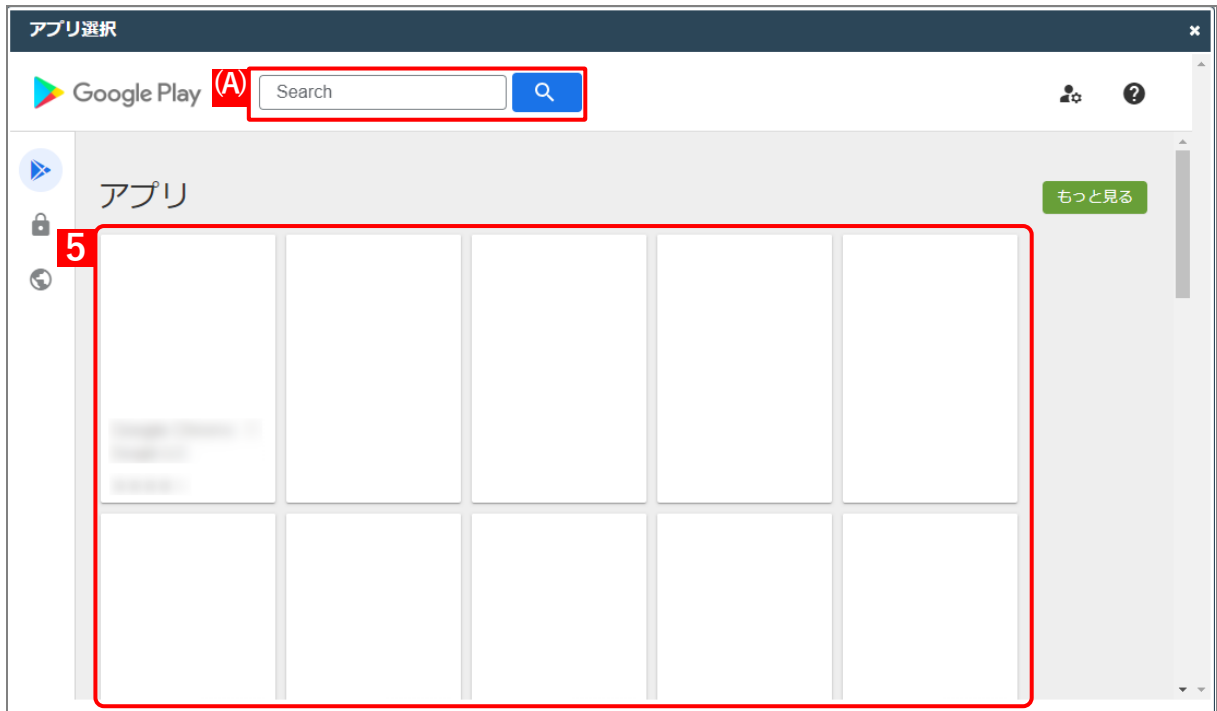
キオスクアプリ動作時の端末操作について

キオスクアプリ動作時は、ジェスチャーナビゲーションの動作やステータスバーの情報表示などが制限されます。制限の解除は専用デバイス制限オプションで行うことができます。

保存

【5】サイレントインストールするアプリを選択します。

⇒ 該当アプリが表示されていない場合は、(A) 「Search」 から検索してください。

**【6】[選択] をクリックします。**

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じられ、管理サイトに戻ります。
選択したアプリのアプリ名とパッケージ名は、自動で入力されます。



[7] 「自動アップデート設定」のプルダウンからアップデート方法を選択します。

📖 アップデートの詳細については、以下を参照してください。

🔗 「自動アップデートの条件」36 ページ

[8] [保存] をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

キオスクアプリ ②

アプリ名	パッケージ名	自動アップデート設定	個別アプリケーション	
		デフォルト	(設定なし)	✕

(これ以上追加できません)

許可アプリ ②

アプリ名	パッケージ名	自動アップデート設定	個別アプリケーション	
		デフォルト	(設定なし)	✕

(+ボタンで追加: 300件まで)

① 自動アップデート設定について

デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

- ・各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
- または、[Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
- ・端末を操作していない状態である。
- ・端末が充電中である。
- ・アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。90日を過ぎると、[デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

高優先度
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開された後、端末のGoogle Play ストアがアップデートを受け取るとすぐにアプリが自動アップデートされます。
[デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

② キオスクアプリ動作時の端末操作について

キオスクアプリ動作時は、ジェスチャーナビゲーションの動作やステータスバーの情報表示などが制限されます。制限の解除は専用デバイス制限オプションで行うことができます。

8 保存

2.2.2 端末にアプリケーション配信設定を割り当てる

以下の手順で、アプリのインストール先となる端末にアプリケーション配信設定を割り当て、同期を行います。この操作まで行くと、端末にアプリがサイレントインストールされます。

- 【1】 [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- 【2】 [設定の割り当て] をクリックします。

Optimal Biz

機器

ユーザー 組織 設定 ログ

一覧

ネットワークマップ

認証手順

全機器一括設定

入力項目のカスタマイズ

メッセージ通知

CSVで追加

CSVで編集

CSVで削除

CSVでクライアント証明書紐付け

CSVをダウンロード

機器

機器名

検索

検索条件:

1 / 1 ページ (2 件)

機器名	OS	電話番号	ユーザー
1	Android 12		
	Android 11		

通信日時: 2023/08/29 11:44:15 同期

OS
Android 12

電話番号
(なし)

ユーザー
(なし)

組織
(なし)

管理情報の編集

設定

2 設定の割り当て

設定テンプレートの割り当て

操作

リモートロック

リモート再起動

- 【3】 「アプリケーション配信」の [編集] をクリックします。

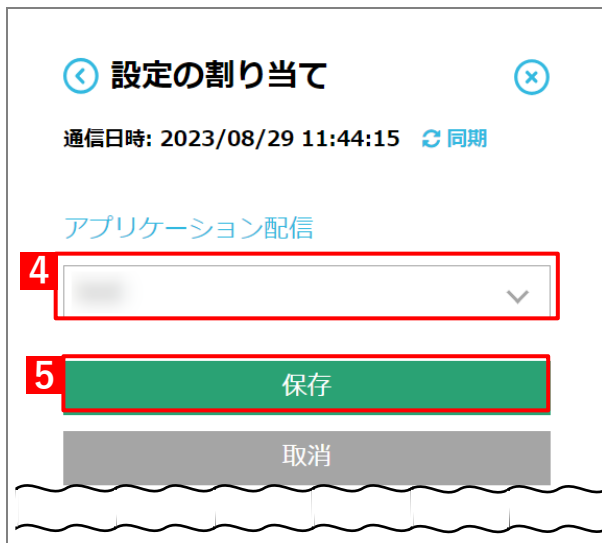
設定の割り当て

通信日時: 2023/08/29 11:44:15 同期

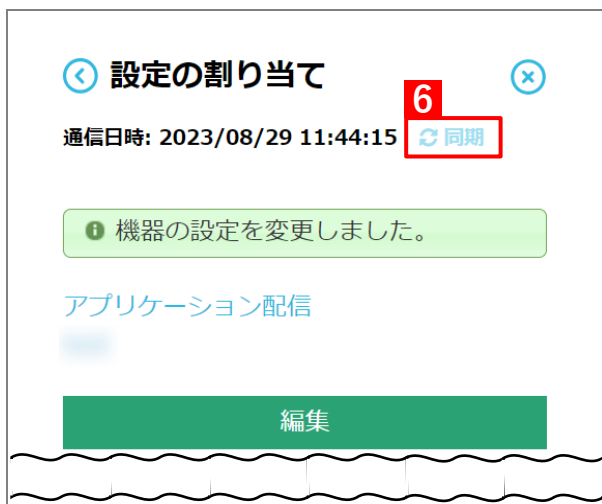
アプリケーション配信
(所属組織に従う: 設定なし)

3 編集

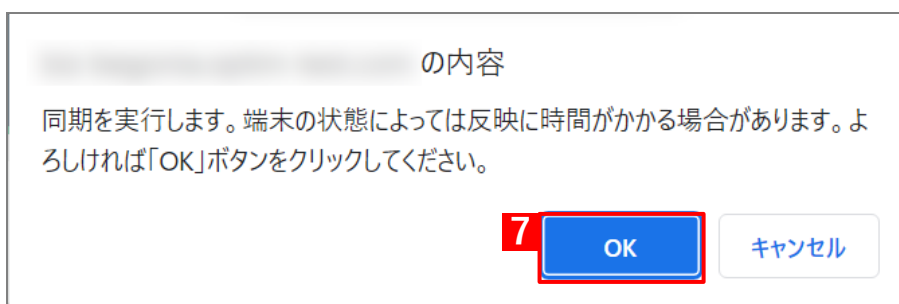
- 【4】** 「アプリケーション配信設定を作成する」で作成した設定セットをプルダウンから選択します。
- 【5】** 「保存」をクリックします。



- 【6】** 「同期」をクリックします。



- 【7】** 「OK」をクリックします。



2.3 オリジナルアプリをインストールする

「アプリケーション配信」で自社開発のオリジナルアプリ（限定公開アプリ）を端末にインストールするには、以下の一連の操作を行います。

- ❑ managed Google Play ストアであっても、Google Play ストアへアプリを公開する場合の要件を満たす必要があります。managed Google Play ストアへアプリがアップロードできない場合は、Google Play Console ヘルプ内「アプリを公開する」をご確認ください。

https://support.google.com/googleplay/android-developer/answer/9859751?hl=ja&ref_topic=7072031&visit_id=637447420079028238-1407887779&rd=1

- ❑ Google Play ストアの仕様上、同じパッケージ名のアプリケーションを複数 managed Google Play ストアにアップロードすることはできません。既に Google Play ストアに同じパッケージ名が存在する場合もアップロードすることができません。

- ❑ 関連会社などで同一のオリジナルアプリを利用し、かつ関連会社ごとに管理サイトが分かれている場合は、いずれかの組織で Developer Account（有償）を取得し、Google Play Console にログインしてから、公開先の利用企業に対して限定公開設定を行ってください。Google Play Console での限定公開設定方法については、以下のヘルプをご確認ください。

<https://support.google.com/googleplay/work/answer/6145139?hl=ja>

- ❑ バージョン違いのアプリケーションを複数アップロードし、組織ごとなどに配信するアプリケーションのバージョンを変えることはできません。

組織内での検証を目的として一部端末に新しいバージョンを配信したい場合は、テスト版リリースを作成してください。オープンテスト版、クローズドテスト版、内部テスト版をセットアップする方法については、以下のヘルプをご確認ください。

<https://support.google.com/googleplay/android-developer/answer/3131213?hl=ja>

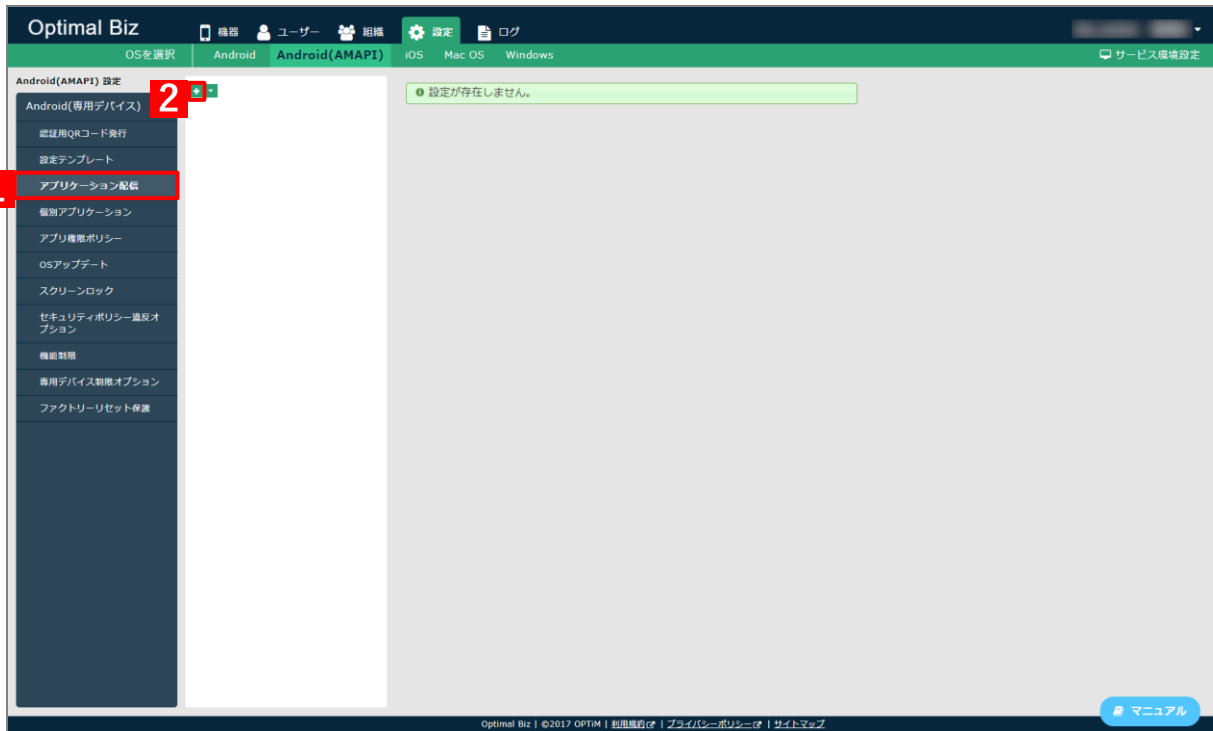
- ❑ Google Play ストアの仕様上、一度アップロードしたアプリを削除することはできません。事前検証用の管理サイトをお持ちの場合は、本番環境で配信予定のオリジナルアプリをアップロードしないよう注意してください。
- ❑ managed Google Play ストアへのアプリアップロードにおける不明点は Google Play Console ヘルプにお問い合わせください。

<https://support.google.com/googleplay/android-developer>

2.3.1 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリケーション配信設定を作成します。


- [1]** [設定] → [Android(AMAPI)] → [Android(専用デバイス)] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。




[3] 「設定名」に任意の名前を入力します。

[4] 「アプリを選択する」をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。

 キオスクアプリ、許可アプリの違いについては、以下を参照してください。


 「専用デバイスに配信できるアプリ」6 ページ

新規作成

設定

設定 - 編集

3 設定名

キオスクアプリ 

4 アプリ名	パッケージ名	自動アップデート設定	個別アプリケーション
<input type="button" value="アプリを選択する"/>	<input type="text"/>	デフォルト	(設定なし)

(これ以上追加できません)

許可アプリ 

アプリ名	パッケージ名	自動アップデート設定	個別アプリケーション
<input type="button" value="アプリを選択する"/>	<input type="text"/>	デフォルト	(設定なし)

(+ボタンで追加: 300件まで)

自動アップデート設定について

デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。



- 各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
- または、[Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
- 端末を操作していない状態である。
- 端末が充電中である。
- アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。90日を過ぎると、[デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。


高優先度
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開された後、端末のGoogle Play ストアがアップデートを受け取るとすぐにアプリが自動アップデートされます。[デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

キオスクアプリ動作時の端末操作について

キオスクアプリ動作時は、ジェスチャーナビゲーションの動作やステータスバーの情報表示などが制限されます。制限の解除は専用デバイス制限オプションで行うことができます。

- 【5】**  (限定公開アプリ) をクリックします。
【6】  をクリックします。



- 【7】** 「タイトル」に任意の名前を入力します。
【8】 [APK をアップロード] をクリックして、オリジナルアプリの APK ファイルをアップロードします。
【9】 [作成] をクリックします。
⇒メールアドレス入力画面が表示されます。
 既にパッケージ名が Google Play ストアに登録されている場合は、エラーメッセージが表示されアプリをアップロードできません。詳しくは、アプリの開発元へお問い合わせください。



【10】 メールアドレスを入力します。

【11】 [OK] をクリックします。

メールアドレスの入力

アプリやデベロッパー アカウントに関する最新情報をお届けします。

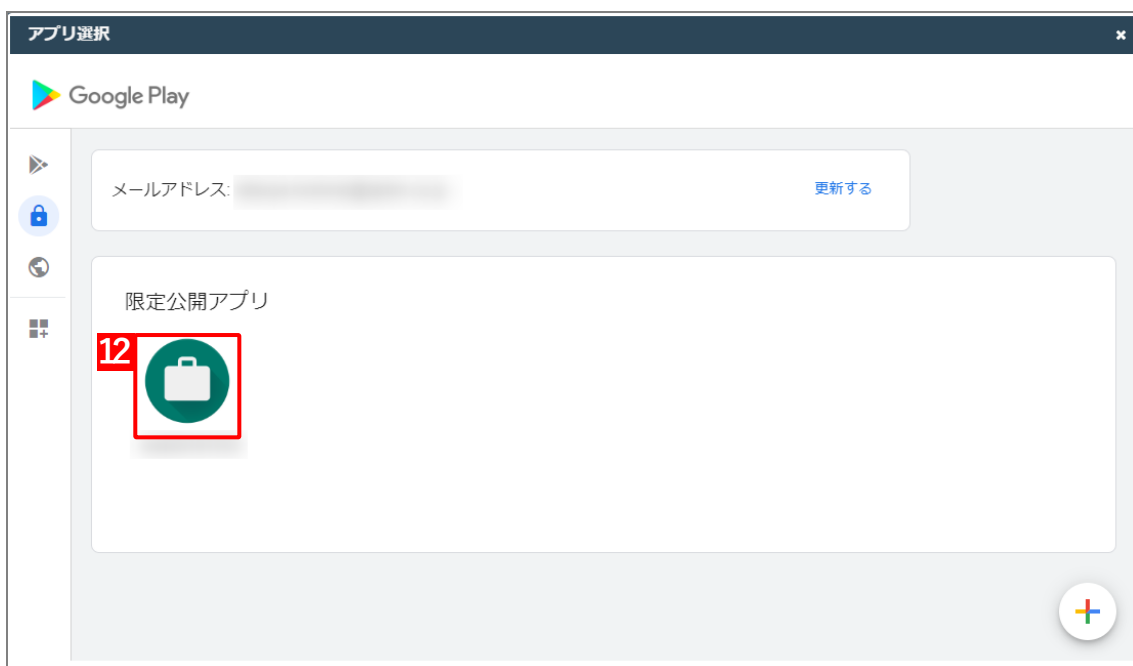
10

キャンセル **11** OK

❑ オリジナルアプリ（限定公開アプリ）が公開されるまで、10 分程度お待ちください。公開されると、(A)「まだご利用いただけません」という表示が消えます。



【12】 公開されたオリジナルアプリ（限定公開アプリ）をクリックします。





【13】 [選択] をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じられ、管理サイトに戻ります。
選択したアプリのアプリ名とパッケージ名は、自動で入力されます。




【14】 「自動アップデート設定」のプルダウンからアップデート方法を選択します。

 アップデートの詳細については、以下を参照してください。


 「自動アップデートの条件」 36 ページ

【15】 [保存] をクリックします。


新規作成


設定

設定 - 編集

キオスクアプリ 

アプリ名	パッケージ名	自動アップデート設定	個別アプリケーション	
		デフォルト	(設定なし)	✕

(これ以上追加できません)

許可アプリ 

アプリ名	パッケージ名	自動アップデート設定	個別アプリケーション	
		デフォルト	(設定なし)	✕

(+ボタンで追加: 300件まで) +

① 自動アップデート設定について

デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

- ・各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
- または、 [Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
- ・端末を操作していない状態である。
- ・端末が充電中である。
- ・アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。90日を過ぎると、 [デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

高優先度
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開された後、端末のGoogle Play ストアがアップデートを受け取るとすぐにアプリが自動アップデートされます。 [デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

② キオスクアプリ動作時の端末操作について

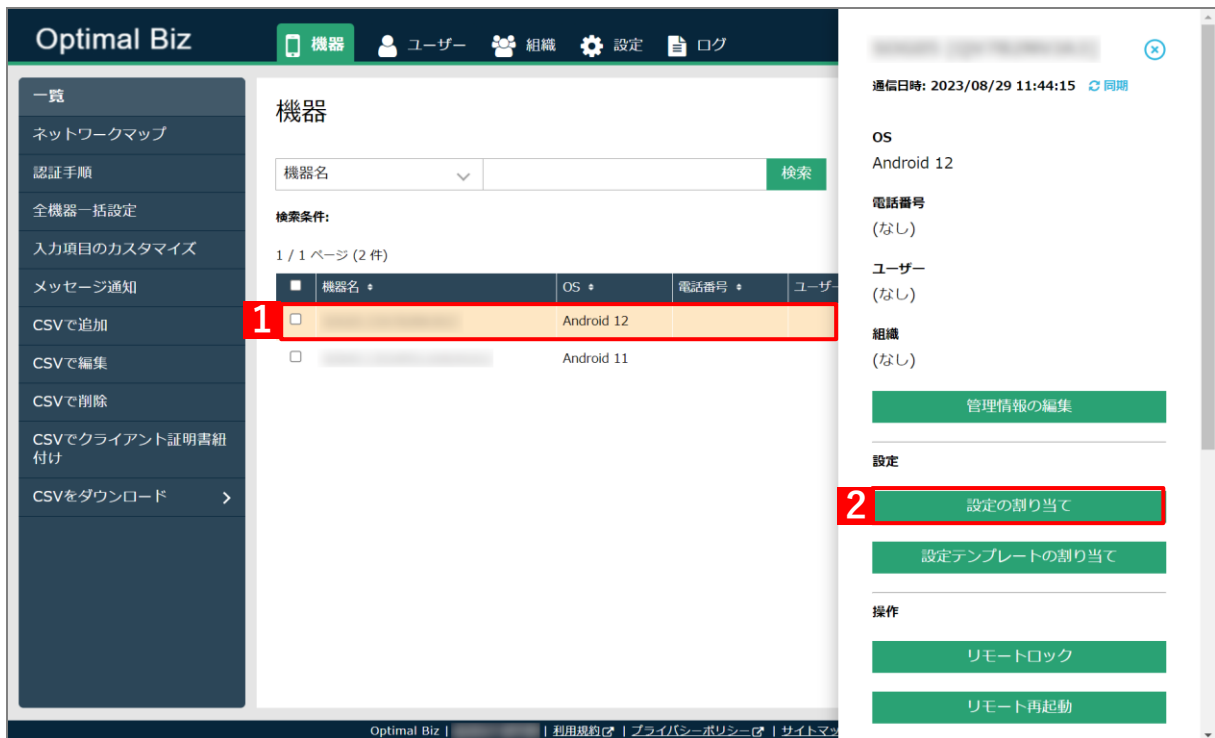
キオスクアプリ動作時は、ジェスチャーナビゲーションの動作やステータスバーの情報表示などが制限されます。制限の解除は専用デバイス制限オプションで行うことができます。

15 保存

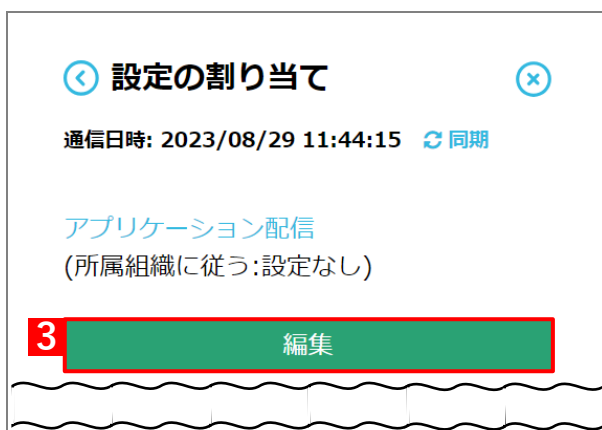
2.3.2 端末にアプリケーション配信設定を割り当てる

以下の手順で、アプリのインストール先となる端末にアプリケーション配信設定を割り当て、同期を行います。この操作まで行くと、端末にアプリがサイレントインストールされます。

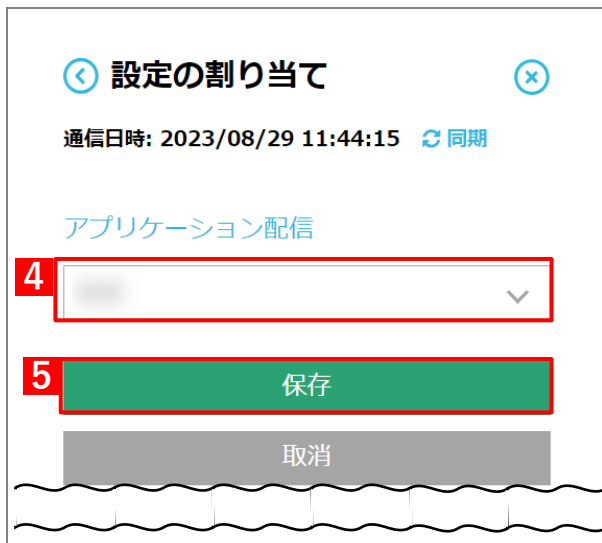
- 【1】 [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- 【2】 [設定の割り当て] をクリックします。



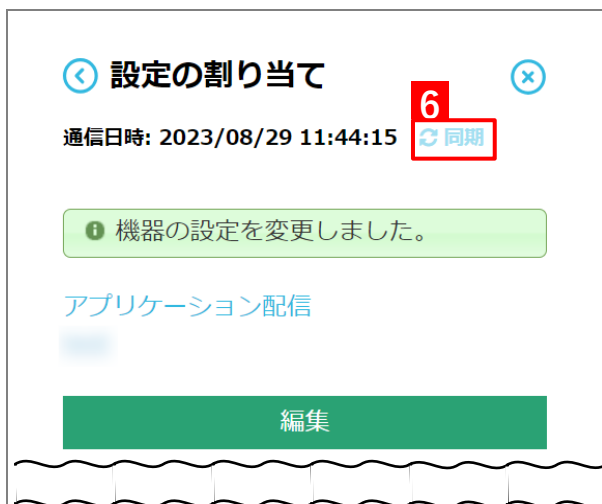
- 【3】 「アプリケーション配信」の [編集] をクリックします。



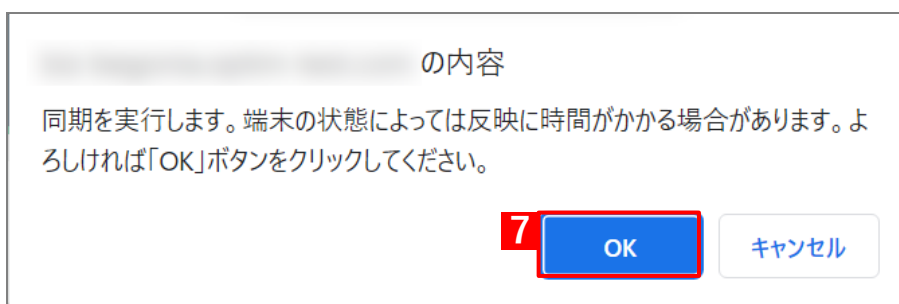
- 【4】 「アプリケーション配信設定を作成する」 で作成した設定セットをプルダウンから選択します。
【5】 「保存」 をクリックします。



- 【6】 「同期」 をクリックします。



- 【7】 「OK」 をクリックします。



2.4 アプリ構成を利用してアプリをインストールする

「個別アプリケーション」の「アプリ構成」を利用すると、対応したアプリの場合は、それらにさまざまな設定値を付加してインストールできます。「アプリ構成」を利用してアプリをインストールするには、以下の一連の操作を行います。

🔗 「アプリ構成」で付加できる設定値は、アプリによって異なります。「アプリ構成」の利用可否、および設定値の仕様については、アプリの開発元へお問い合わせください。

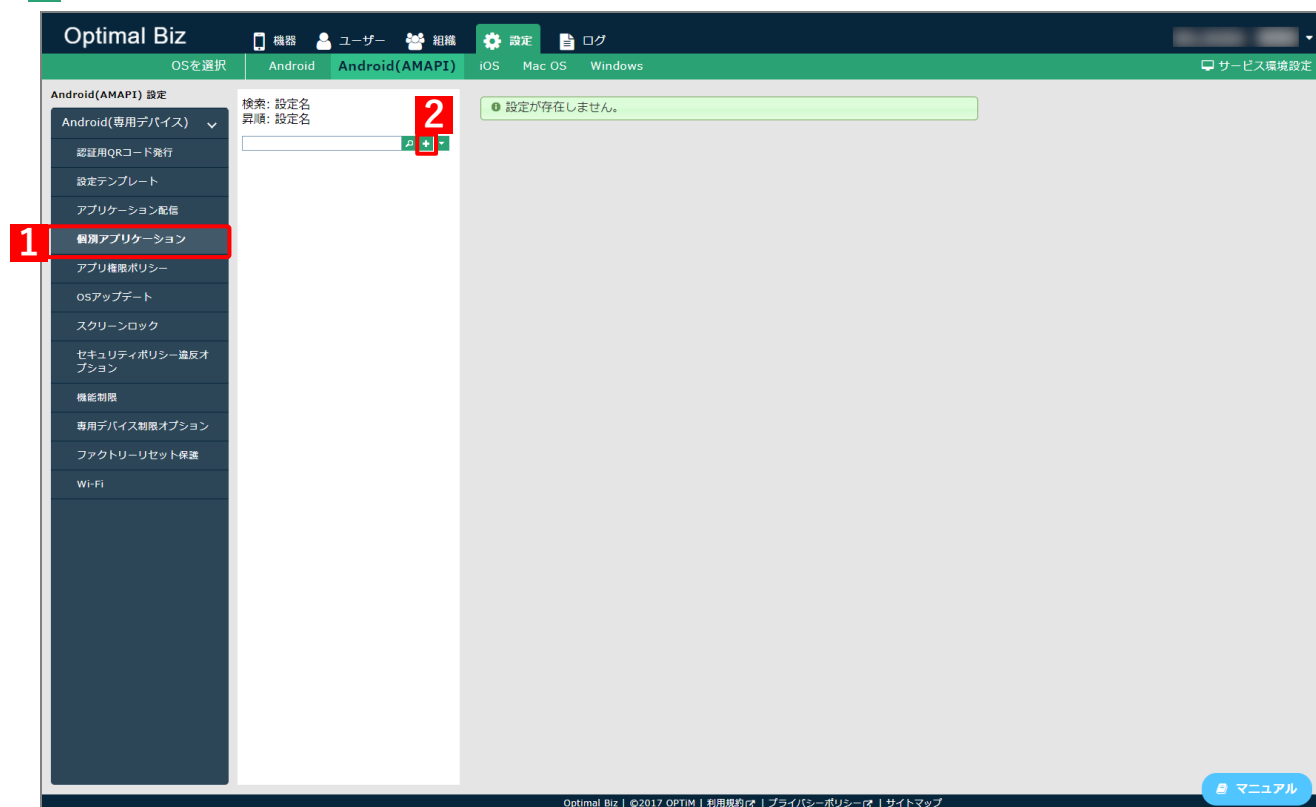
2.4.1 個別アプリケーション設定を作成する

以下の手順で「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリを登録した設定セット（個別アプリケーション設定）を作成します。

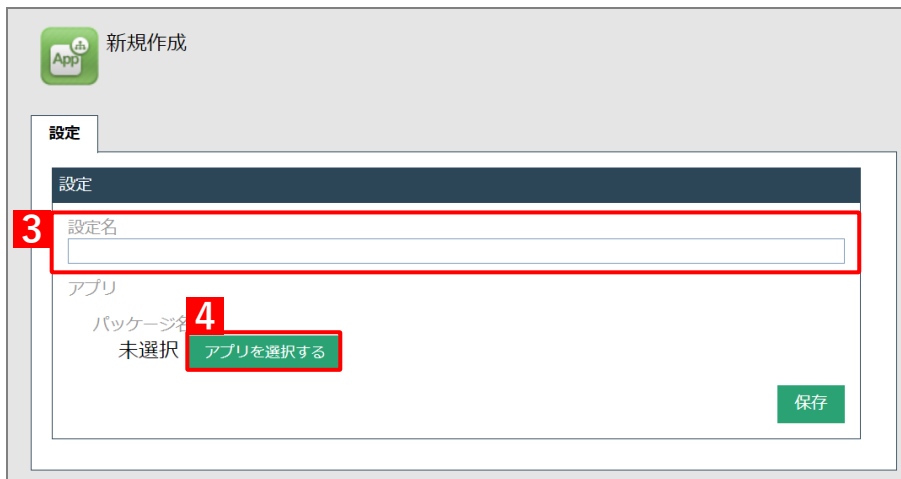
🔗 1つの設定セットに複数のアプリをセットすることはできません。

[1] [設定] → [Android(AMAPI)] → [Android(専用デバイス)] → [個別アプリケーション] をクリックします。

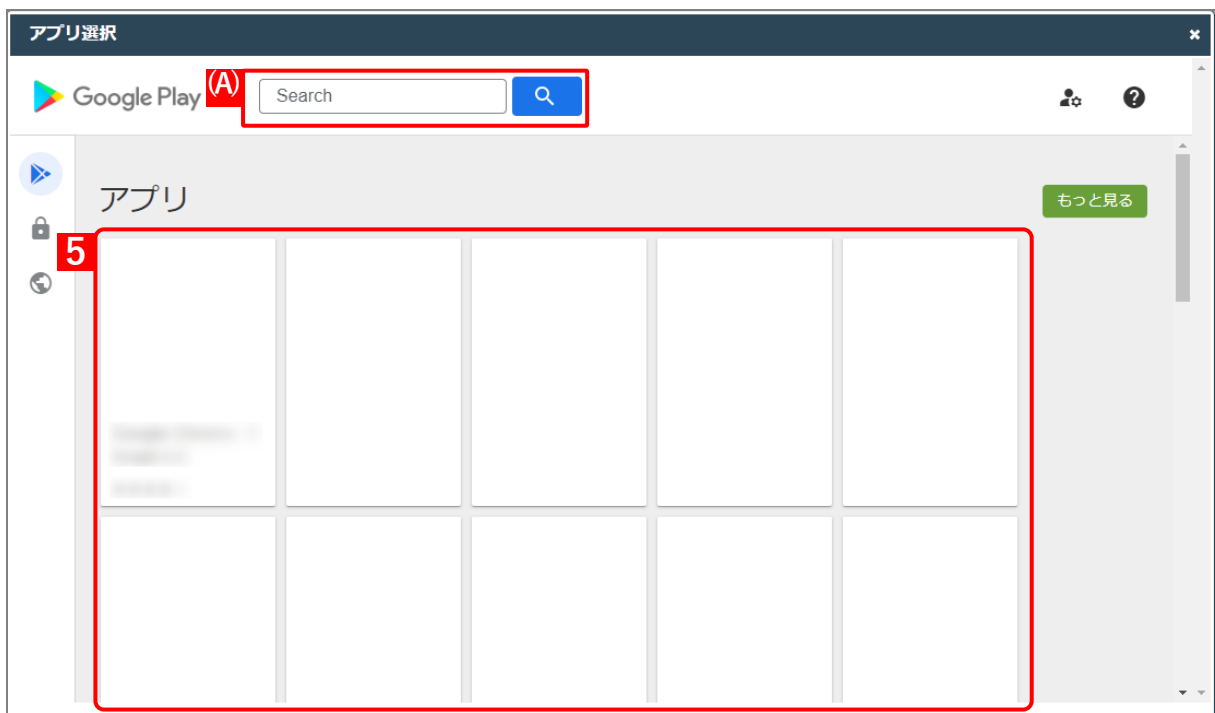
[2] **+** をクリックします。



- [3]** 「設定名」に任意の名前を入力します。
- [4]** 「アプリを選択する」をクリックします。



- [5]** インストールするアプリを選択します。
⇒ 該当アプリが表示されていない場合は、(A) 「Search」から検索してください。



【6】 [選択] をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じます。

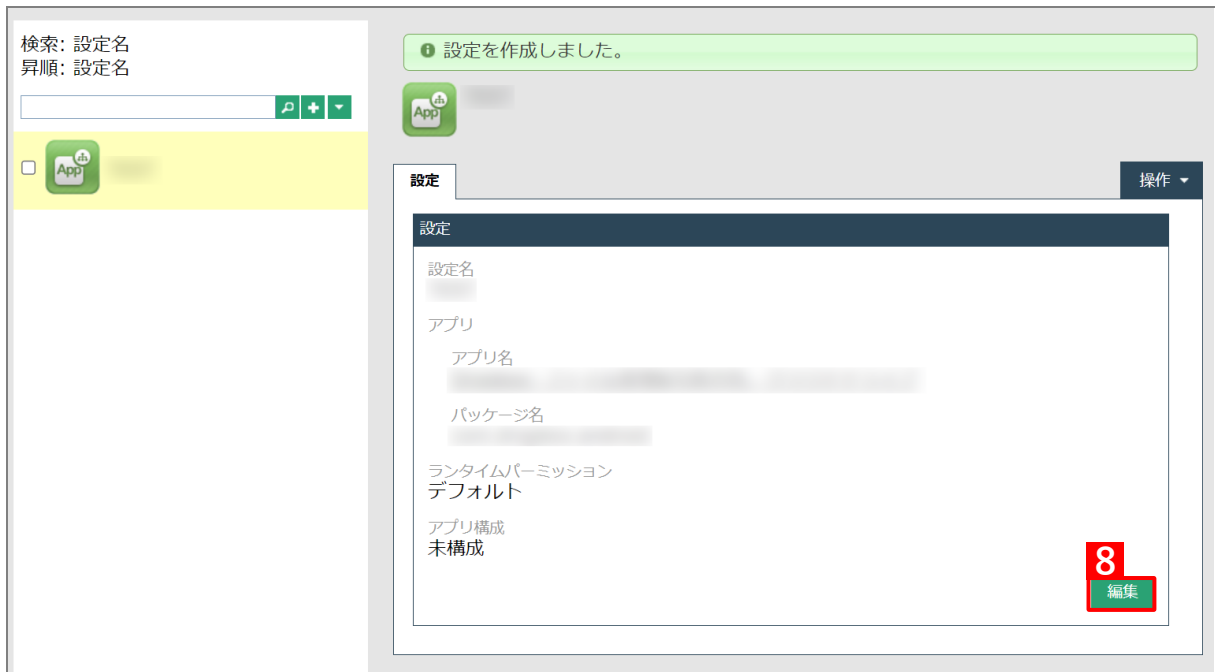
**【7】** [保存] をクリックします。

⇒ 設定セットが作成されます。

✎ (A) 選択したアプリのパッケージ名が表示されています。



[8] [編集] をクリックします。



[9] 「アプリ構成」の「未構成」をクリックします。

The screenshot shows a web-based application configuration page. At the top left, there is a green 'App' icon. The page title is '設定' (Settings). Below the title, there is a '設定 - 編集' (Settings - Edit) header. The main content area is divided into sections: '設定名' (Setting Name), 'アプリ' (App), and 'ランタイムパーミッション' (Runtime Permissions). The 'アプリ' section includes fields for 'アプリ名' (App Name) and 'パッケージ名' (Package Name). The 'ランタイムパーミッション' section has two radio buttons: 'デフォルト' (Default) and '個別設定' (Individual Settings). Below this is a table of permissions with columns for 'パーミッション名' (Permission Name) and '許可' (Permission). The table lists various permissions such as 'android.permission.ACCESS_COARSE_LOCATION' and 'android.permission.CAMERA', each with a 'デフォルト' (Default) dropdown menu. At the bottom left, a red box with the number '9' highlights the 'アプリ構成 未構成' (App Configuration Not Configured) button. Below this button, there is a warning message: '※以下のワイルドカードを使用することが出来ます。' (You can use the following wildcards.) followed by two bullet points: '\$emailaddress\$: 機器に紐付くユーザーのメールアドレス' and '\$username\$: 機器に紐付くユーザーの名前'. A red-bordered box contains a warning icon and the text: '▲ アプリ構成を 新規作成 / 更新 / 削除 した場合は、編集中の設定が保存されます。' (When you create new / update / delete app configuration, the settings in the editing state will be saved.). At the bottom right, there are two buttons: '取消' (Cancel) and '保存' (Save).

9 アプリ構成
未構成

※以下のワイルドカードを使用することが出来ます。
・ \$emailaddress\$: 機器に紐付くユーザーのメールアドレス
・ \$username\$: 機器に紐付くユーザーの名前

▲ アプリ構成を 新規作成 / 更新 / 削除 した場合は、編集中の設定が保存されます。

取消 保存

【10】 「設定名」に任意の名前を入力します。

【11】 アプリに付加する設定値を入力します。

付加できる設定値は、アプリによって異なります。詳細については、アプリの開発元にお問い合わせください。

特定のアプリでは、管理サイトで設定されているユーザー情報のうち、「名前」と「メールアドレス」のそれぞれに紐づくワイルドカード「\$username\$」と「\$emailaddress\$」を設定値として使用できます。これらのワイルドカードを使用することにより、メールアプリなどをインストールするときに各ユーザーに対応したユーザー名やアドレスを自動的に設定できます。

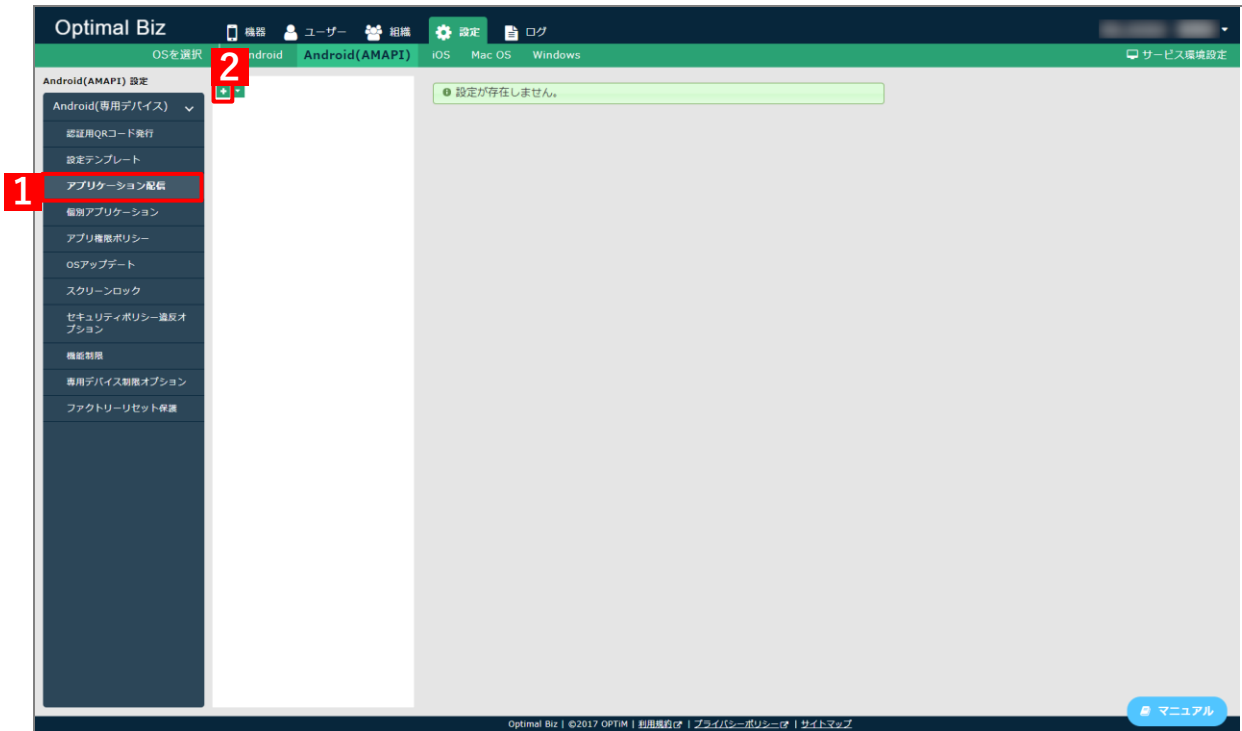
【12】 [保存] をクリックします。

⇒ (A) アプリ個別設定が変更されます。(B) 「アプリ構成」には、【10】で入力した設定名が反映されます。

2.4.2 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、個別アプリケーション設定を組み合わせた設定セット（アプリケーション配信設定）を作成します。

- [1]** [設定] → [Android(AMAPI)] → [Android(専用デバイス)] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



[3] 「設定名」に任意の名前を入力します。

[4] 「アプリを選択する」をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。

✎ キオスクアプリ、許可アプリの違いについては、以下を参照してください。

📄 「専用デバイスに配信できるアプリ」6 ページ

新規作成

設定

設定 - 編集

3 設定名

キオスクアプリ ②

4 アプリ名 パッケージ名 自動アップデート設定 個別アプリケーション

アプリを選択する

(これ以上追加できません)

許可アプリ ②

アプリ名 パッケージ名 自動アップデート設定 個別アプリケーション

アプリを選択する

(+ボタンで追加: 300件まで)

自動アップデート設定について

デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

- 各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
- または、[Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
- 端末を操作していない状態である。
- 端末が充電中である。
- アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。90日を過ぎると、[デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

高優先度
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開された後、端末のGoogle Play ストアがアップデートを受け取るとすぐにアプリが自動アップデートされます。[デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

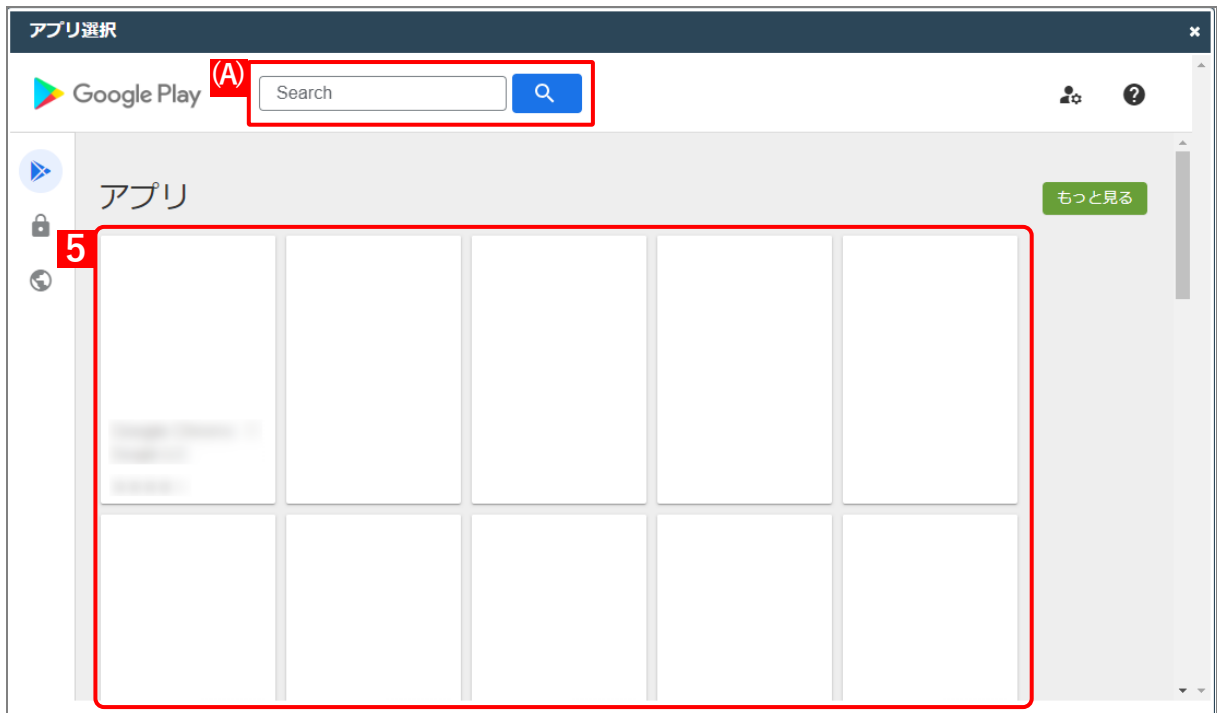
キオスクアプリ動作時の端末操作について

キオスクアプリ動作時は、ジェスチャーナビゲーションの動作やステータスバーの情報表示などが制限されます。制限の解除は専用デバイス制限オプションで行うことができます。

保存

[5] インストールするアプリを選択します。

⇒該当アプリが表示されていない場合は、(A) 「Search」 から検索してください。

**[6] [選択] をクリックします。**

⇒managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じられ、管理サイトに戻ります。
選択したアプリのアプリ名とパッケージ名は、自動で入力されます。



【7】 「自動アップデート設定」のプルダウンからアップデート方法を選択します。

📄 アップデートの詳細については、以下を参照してください。

📄 「自動アップデートの条件」 36 ページ

【8】 「個別アプリケーション」のプルダウンから「個別アプリケーション設定を作成する」で作成した設定セットを選択します。

📄 個別アプリケーションの設定セットについては、以下を参照してください。

📄 「個別アプリケーション設定を作成する」 23 ページ

【9】 [保存] をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集集中

キオスクアプリ ②

アプリ名	パッケージ名	自動アップデート設定	個別アプリケーション	
	<input style="width: 80%;" type="text"/>	デフォルト ▼	(設定なし) ▼	✕
(これ以上追加できません)				

許可アプリ ②

アプリ名	パッケージ名	自動アップデート設定	個別アプリケーション	
	<input style="width: 80%;" type="text"/>	デフォルト ▼	(設定なし) ▼	✕

(+ボタンで追加: 300件まで)
+

① 自動アップデート設定について

デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

- ・各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
- または、 [Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
- ・端末を操作していない状態である。
- ・端末が充電中である。
- ・アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。90日を過ぎると、 [デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

高優先度
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開された後、端末のGoogle Play ストアがアップデートを受け取るとすぐにアプリが自動アップデートされます。 [デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

② キオスクアプリ動作時の端末操作について

キオスクアプリ動作時は、ジェスチャーナビゲーションの動作やステータスバーの情報表示などが制限されます。制限の解除は 専用デバイス制限オプション で行うことができます。

9
保存

2.4.3 端末にアプリケーション配信設定を割り当てる

以下の手順で、アプリのインストール先となる端末にアプリケーション配信設定を割り当て、同期を行います。この操作まで行くと、端末にアプリがサイレントインストールされます。

- 【1】 [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- 【2】 [設定の割り当て] をクリックします。

Optimal Biz

機器

ユーザー 組織 設定 ログ

一覧

ネットワークマップ

認証手順

全機器一括設定

入力項目のカスタマイズ

メッセージ通知

CSVで追加

CSVで編集

CSVで削除

CSVでクライアント証明書紐付け

CSVをダウンロード

機器

機器名

検索

検索条件:

1 / 1 ページ (2 件)

	機器名	OS	電話番号	ユーザー
1		Android 12		
		Android 11		

通信日時: 2023/08/29 11:44:15 同期

OS
Android 12

電話番号
(なし)

ユーザー
(なし)

組織
(なし)

管理情報の編集

設定

2 設定の割り当て

設定テンプレートの割り当て

操作

リモートロック

リモート再起動

- 【3】 「アプリケーション配信」の [編集] をクリックします。

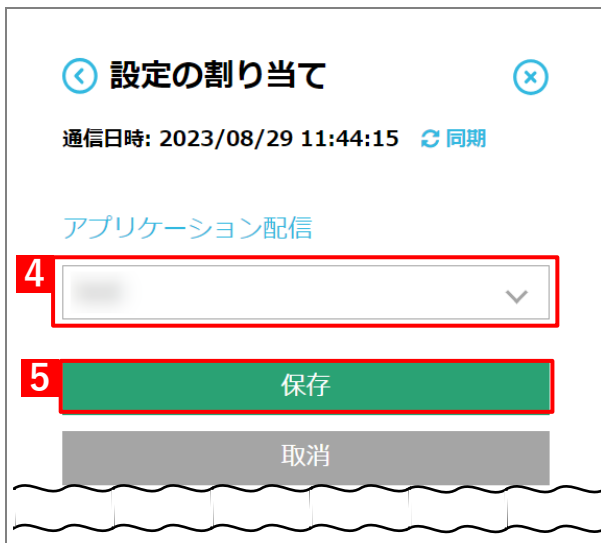
設定の割り当て

通信日時: 2023/08/29 11:44:15 同期

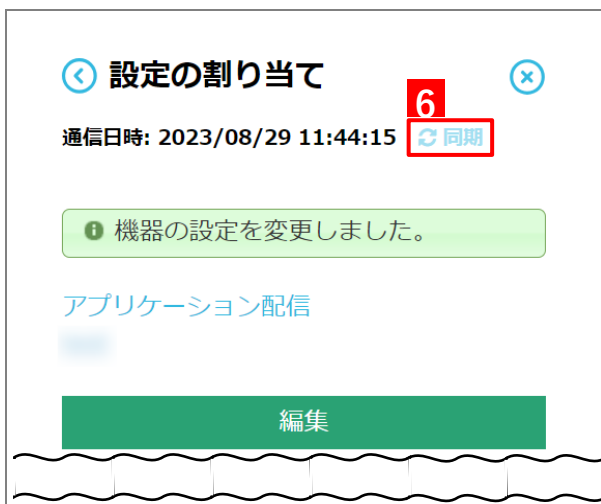
アプリケーション配信
(所属組織に従う:設定なし)

3 編集

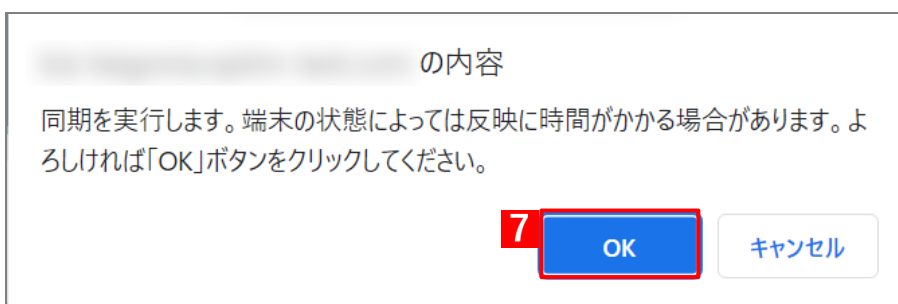
- 【4】 「アプリケーション配信設定を作成する」 で作成した設定セットをプルダウンから選択します。
- 【5】 「保存」 をクリックします。



- 【6】 「同期」 をクリックします。



- 【7】 「OK」 をクリックします。



3 アプリをアップデートする


3.1 自動アップデートの条件


キオスクアプリおよび許可アプリは、アプリケーション配信設定で、以下のアップデート方法を設定します。

● デフォルト

以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

- 各端末の Google Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。または、[Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末が Wi-Fi に接続されている。
- 端末を操作していない状態である。(※1)
- 端末が充電中である。(※1)
- アップデートするアプリが画面上で起動していない。(※1)

 ※1：管理サイトで「OS アップデート」の「指定した時間内にアップデート」の設定を割り当てると、指定した時間の間、この条件は無視されます。詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android (AMAPI)」—「Android (専用デバイス)」—「OS アップデート」

● 90 日間延期

Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90 日間はアップデートされません。90 日を過ぎると、[デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

● 高優先度


Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されると、すぐにアプリが自動アップデートされます。[デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。


◆ キオスクアプリのアップデート

キオスクアプリを自動でアップデートしたい場合は、以下の設定を行ってください。

● デフォルト、または 90 日間延期を選択した場合

[設定] → [Android (AMAPI)] → [Android (専用デバイス)] → [OS アップデート] の「指定した時間内にアップデート」の設定を割り当てて、アップデートしたい時間を指定する。

 OS アップデートの詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android (AMAPI)」—「Android (専用デバイス)」—「OS アップデート」

● 高優先度を選択した場合

別途、設定の必要はありません。キオスクアプリもアップデートされます。

4 その他

4.1 注意事項

- 組織に割り当てた「アプリケーション配信」を以下のとおり変更すると、「アプリケーション配信」を利用してインストールしたアプリは、同期したときにアンインストールされます。
 - ・ 「(設定なし)」または「(所属組織に従う：設定なし)」に変更した場合
 - ・ 該当アプリが含まれていないアプリケーション配信設定に変更した場合
- アプリケーション配信設定に多くのアプリが含まれている場合は、端末にすべてのアプリがインストールされるまでに時間がかかります。
- キオスクアプリを割り当てた場合、端末にインストールが完了するまでインストール中の画面が表示され続けます。
- キオスクアプリに指定したパッケージ名が managed Google Play ストアに存在しない場合、端末にインストール中の画面が表示され続けます。
- 「OS アップデート」の「指定した時間内にアップデート」の設定を割り当てている場合、指定した時間の間「自動アップデート設定」の「デフォルト」の条件は無視されます。
- 有線接続のみの端末で USB データ転送を「禁止」に設定している場合などは、端末が使用できなくなる恐れがあります。端末の設定や接続状態には注意してください。

4.2 インストール／アップデートができないときは

以下のとおり設定されているか、確認してください。

◆ 端末

- 「managed Google Play ストア」を「アプリを自動更新する」または「Wi-Fi 経由のみ」に設定している。
- Wi-Fi ネットワークに接続している。
- 端末を充電中に行っている。
- 端末を操作していない。
- 更新対象のアプリがフォアグラウンドで実行していない。